

上村 靖司 (かみむら せいじ)

— プロフィール —

工学博士。

1988年長岡技術科学大学工学部卒業。90年同大学大学院修士課程（創造設計工学専攻）修了。同年同大学機械系助手。99年小山工業高等専門学校（機械工学科）助教授。

94～95年米国レンセラー工科大学客員研究員。都市雪害評価、克雪・利雪技術の開発に関する研究に従事。新潟県雪冷熱エネルギー活用調査検討委員会副委員長新潟県中越地震・雪氷災害調査検討委員会総務幹事。

樋口 利明 (ひぐち としあき)

— プロフィール —

財団法人 雪だるま財団 理事。

1977年国立埼玉大学理工学部卒業。同年十日町市役所勤務。88年より自宅の新築時に、雪室と雨水貯留とそれぞれの下部に井戸を設計施工。95年に十日町市役所を退職し同年十日町市議会議員に当選。2005年の合併に伴ない市議失職。現在、利雪しんせつ協会会長として雪を核とした活動を精力的に展開している。

89年 郷土提言賞（毎日新聞）を受賞

90年 利雪技術論文国土庁長官賞を受賞など

北海道岩見沢農業高等学校

— プロフィール —

平成12年度より、大学や地域研究会の協力の下に始まった、利雪活動は、「雪を活用した新たな農業の発展を目指して」を合い言葉に、先輩より後輩へと受け継がれている。その間、様々な雪に関する活動を行っているが、近年では、より多くの方に利雪を理解して頂くための、イベント活動にも積極的に取り組んでいる。

2002年 ビジネスアイデアコンテスト 優秀賞

03年 北海道新エネルギー省エネルギー促進大賞 特別奨励賞

04年 ほくれん夢大賞 大賞

北海道沼田高等学校

— プロフィール —

北海道沼田町は平均積雪が2mの道内有数の豪雪地帯で、雪の冷気を利用した日本最大級の米（粳）貯蔵庫がある。沼田高校では、この雪の活用を目指す町の取り組みに触れる「利雪学習」を3年次に取り入れ、エネルギーや環境について身をもって学ぶ機会を設定している。04年度から継続して取り組んだ簡易雪冷房機の改良・運用に加えて、校外に向けて「利雪」の可能性を発信するに至った今年度の活動を紹介する。

新潟県立松代高等学校

— プロフィール —

雪国では、雪に耐え、雪を克服することが主眼になっていた。しかし、近年、雪を資源として利用し、雪のある生活を楽しむ傾向が出てきた。そこで、学校内の雪捨て余地を活用し、雪を保存すると同時に、夏の冷房エネルギー源として活用することを目標に、雪冷房プロジェクトを計画している。